

— 図上シミュレーション訓練 — (ロールプレイング方式の図上訓練)

Blog防災・危機管理トレーニング主宰 (消防大学校客員教授)

日野 宗門



連載の最終回は、図上演習手法の中で最も臨場感の高い「図上シミュレーション訓練」(「ロールプレイング方式の図上訓練」とも呼称)を紹介します。

I 特徴—多数の関係者が参加した臨場感のある図上訓練が可能—

この手法は、コントローラー(進行管理者)からプレイヤー(訓練参加機関・部課・団体等)に対し、災害時に生起する「状況」を次々と付与し、その状況への対応を速やかに決定させる形式で進行します。このことにより、「災害時の緊迫感の感得と高い危機意識の醸成」、「迅速かつ適切な対応能力の習得」、「他機関・部課・団体等との連携方法の習得」等の効果を期待できます。

この手法は、多数のプレイヤーが参加可能であることから、国や都道府県主催の大規模な図上訓練でしばしば採用されています。しかし、原理はシンプルですので誰でも実施可能な手法です。

II 事前の準備

1. 会場設営

コントローラー及びプレイヤー用のテーブルを配置します。通常、コントローラー用テーブルは会場の最前列に配置します。プレイヤー用テーブルは、参加機関・部課・団体等毎に隣のテーブルの音が邪魔にならない程度に離して配置します。

2. 状況付与票、対応記録票、連絡票の準備

図上シミュレーション訓練の基本形は、「状況付与票」、「対応記録票」、「連絡票」の3種類の「票」を用いるものです。これらの票の様式及び機能は以下のとおりです。

① 状況付与票

表1に状況付与票の例を示します。状況付与票は、訓練時にコントローラーからプレイヤーに与えられます。状況付与票には、No.(状況付与票に時系列で付けた番号)、付与時刻(状況付与票を付与する実時刻)、想定時刻(訓練での想定時刻)、付与先(状況付与票を付与されるプレイヤー)、発信元(情報や要請等の発信元、多くの場合コントローラーが代行)、付与方法(基本形では「コントローラーからの手渡し」)、付与事項(付与する状況・条件)などが記載されています。

状況付与票は、訓練の規模・時間に応じて数十枚～数百枚を準備します。慣れるまではプレイヤーの数を限定し、数十枚程度の小規模訓練から始めると良いでしょう。

状況付与票は事前にコントローラーが作成します。状況付与票でもっとも重要なのは「付与事項」です。「付与事項」は訓練の目的に応じ、災害事例などをもとに作成しますが、インターネットで“状況付与票”を検索すると多くの情報が得られますので参考にされると良いでしょう。

表 1 状況付与票の例(注)

No.	10		
付与時刻(実時刻)	3月15日 9:12	想定時刻	9月1日 21:35
付与先	△△市消防本部		
発信元	〇〇駅員(コントローラー)	付与方法	コントローラーから手渡し
件名	〇〇駅構内での特急電車の脱線転覆		
付与事項	〇〇駅を通過中であった特急電車が、地震により駅構内で脱線転覆。多数の死傷者が発生していると思われる。出動をお願いしたい。		

(注) 原則として、A4(又はB5)サイズで作成する。

② 対応記録票

表2に対応記録票の例(記入例)を示します。対応記録票には、「コントローラーから状況付与票で付与された事項」又は「他プレイヤーから連絡票で伝達された指示・要請・問合せ等」に対するプレイヤーの対応を記録します。

プレイヤー用テーブルには、「当該プレイヤーに対する状況付与票」数の2倍程度の未記入の対応記録票を用意しておきます。

表 2 対応記録票の例(記入例)(注)

記入者・所属	△△市消防本部	氏名	山野かな太
状況付与票受信時刻(想定時刻)	21:35	状況付与票No.	10

※「連絡票」を受信した場合は下欄

連絡票受信時刻(想定時刻)	
受信内容	

対応記録	
時刻	対応内容
21:48	〈駅員(コントローラー)への回答〉 レスキュー隊2隊、救急隊3隊、消防隊1隊を〇〇駅へ出動させる。構内での案内を依頼。
21:53	〈△△市医師会への要請〉 トリアージチームの派遣を要請
21:55	〈〇〇警察署への要請〉 駅周辺の交通整理を要請

(注) 原則として、A4(又はB5)サイズで作成する。

表3 連絡票の例（記入例：△△市消防本部⇒△△市医師会）（注1、注2）

連絡種別	指示 <input type="checkbox"/> 要請 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ <input type="checkbox"/> 回答・報告 <input type="checkbox"/> 情報 <input type="checkbox"/>
連絡日時	21:56
発信元	△△市消防本部 山野かな太
連絡先	△△市医師会
件名	トリアージ部隊の派遣の要請
内容	〇〇駅員から駅を通過中であつた特急電車が、地震により駅構内で脱線転覆し、多数の死傷者が発生している恐れがあるとの連絡があつたため、貴医師会のトリアージチームの派遣をお願いしたい。

（注1）△△市医師会が訓練に参加していなければコントローラーが代役を務める。

（注2）原則として、A4（又はB5）サイズで作成する。

③ 連絡票

表3に連絡票の例（記入例）を示します。連絡票は、プレイヤーが他のプレイヤーとの間で、指示、要請、問合せ、回答・報告、情報（提供）等の目的で使用します。

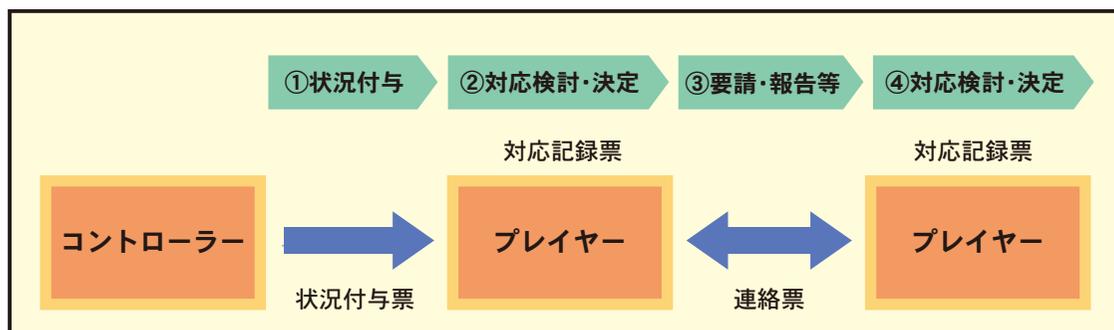
プレイヤー用テーブルには、②で準備した対応記録票数の2倍程度の未記入の連絡票を用意しておきます。

III 進め方

図上シミュレーション訓練の基本形の進め方を「図 図上シミュレーション訓練の流れ」に沿い解説します（図中番号と解説文番号は対応）。

- ① 「状況付与票」の付与時刻に、コントローラーからプレイヤーに対し「状況付与票」により「状況」（付与事項）が付与されます（表1では、駅員（コントローラーが代行）から地元の△△市消防本部へ付与されています。）。
- ② プレイヤーは付与された状況への対応策を検討・決定します。それを受け実施した対応の内容をそのつど「対応記録票」に記入しておきます（表2では、△△市消防本部が付与事項への対応を検討・決定し、記録しています。）。
- ③ プレイヤーは状況に応じ他プレイヤーに対し、指示、要請、問合せ、報告等を「連絡票」を用いて行います。訓練に参加していない機関等に対する指示、要請、問合せ、報告等は、すべてコントローラーに対して行います。コントローラーは不参加機関等を代行します。（表3では、△△市消防本部から医師会への要請例を示していますこのほか、駅員（コントローラー）への回答、〇〇警察署への要請も連絡票を用いて行います。）。
- ④ 「連絡票」により指示、要請、問合せ、報告等を伝達されたプレイヤー（やコントローラー）は、それへの対応策を検討・決定し、対応記録票に記録します（この場合、受信記録は連絡票受信時刻・受信内容欄を使用します。）。

図 図上シミュレーション訓練の流れ



〈留意点〉

- 対応を記録した「対応記録票」は、複写したものを1部コントローラーへ提出します（原本はプレイヤーの控えとします）。また、「連絡票」については2部複写し、各1部をコントローラーと連絡先プレイヤーへ渡します（原本は自らの控えとします）。複写には、コピー機又は複写用紙を用います。
- 原則として、コントローラーからの「状況付与票」及び他プレイヤーからの「連絡票」から得られる情報のみで対応を検討・決定するものとします。ただし、訓練上必要と思われる情報についてはコントローラーに問い合わせます。なお、問い合わせを受けたコントローラーは、訓練実施上必要と判断されるものについてのみ回答します。
- その他の疑問点はコントローラーに問い合わせます。

IV 補足

「状況付与票」、「対応記録票」、「連絡票」を用いれば、災害時の様々な状況をシミュレート（模擬）できることをご理解いただけたと思います。

なお、他機関等との「連携」よりもプレイヤー自らの「対応」に重点を置いた訓練としたい場合、「連絡票」を使用しないことがあります。

また、本稿では、3種の「票」を「手渡し」で行うことを前提として解説しましたが、これらの一部（又は全部）を電話、無線、パソコン、FAX等で置き換えることで、より臨場感を伴った訓練が可能となります。

V 連載を終えるにあたって

これまで6回にわたり地域防災図上演習手法を解説してきました。紹介した手法は、いずれも国内で広く活用されているものばかりです。本連載からそれぞれの手法の特徴と進め方を理解され、地域防災力の向上に役立てていただければ幸いです。1年間おつき合いいただきありがとうございました。